

商品仕様書

1

全 9

本仕様書適用品番・品名一覧表

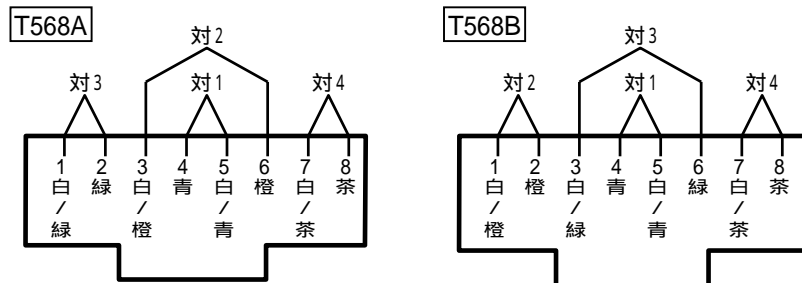
品番	品名
NR3160	ぐっとすシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)
NR3160W	ぐっとすシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(ホワイト)
NR3160H	ぐっとすシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(グレー)
NR3160R	ぐっとすシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(レッド)
NR3160L	ぐっとすシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(ブルー)
NR3160Y	ぐっとすシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(イエロー)
NR3160GL	ぐっとすシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(グリーン)
NR3160F	ぐっとすシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(ページュ)
NR3160CW	アドバンスシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(セラミックホワイト)
NR3160B	ぐっとすシリーズ情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(ブラック)

1. 型式

1-1 極数 8極8心

[IEC60603-7に規定される形状の8極固定コネクタ(8極モジュラジャック)]

1-2 ピン及び対の割り当て



1-3 成端方式 圧接接続(IDC)

2. 保証品質

2-1 形状及び材料, 色彩 商品仕様図による。

2-2 性能

・測定環境は、特に指定のない限り温度(15 ~ 35)、相対湿度(25 % ~ 75 %)
気圧(86 kPa ~ 106 kPa)とする。

・性能は、次の各項目に適合

絶縁抵抗	コンタクト間 100 M 以上(500 V DC)
耐電圧	コンタクト間 1 000 V DC or AC-peak 1 分間 コンタクトと外かく間 1 500 V DC or AC-peak 1 分間
入出力間抵抗	200 m 以下(モジュラコンタクト部とIDC端子部を含む)
挿抜回数	適合モジュラプラグの挿抜 750 回
耐熱性	70 7 時間

注) 適合モジュラプラグは、IEC60603-7に規定される形状の8極フリーコネクタ(8極モジュラプラグ)とする。

品番	NR3160 他9品番	品名	ぐっとすシリーズ 情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型) 他9品種	改	19
----	----------------	----	--	---	----

商 品 仕 様 書

2

全 9

伝送性能

- ・ANSI/TIA-568.2-D-2018 Category 5e
 - ・ISO/IEC 11801-1:2017 Category 5/Class D
 - ・JIS X 5150-1: 2021 カテゴリ5/クラスD
- に準拠

最大挿入損失(IL)

<規格>
 $IL = 0.04 f$ (dB)
 (1 $f < 100$ (MHz))
 式の値が0.1dB未満のときは0.1dBとする。

<代表的周波数の特性値>

周波数[MHz]	[dB]
1	0.1
4	0.1
8	0.1
10	0.1
16	0.2
20	0.2
25	0.2
31.25	0.2
62.5	0.3
100	0.4

最小近端漏話減衰量(NEXT)

<規格(TIA/EIA)>
 $NEXT = 43 - 20\log(f/100)$ (dB)
 (1 $f < 100$ (MHz))
 式の値が65dBを越えるときは65dBとする。

<規格(JIS, ISO/IEC)>
 $NEXT = 83 - 20\log(f)$ (dB)
 (1 $f < 100$ (MHz))
 式の値が75dBを越えるときは75dBとする。

<代表的周波数の特性値>

周波数[MHz]	[dB]
1	65.0 (75.0)
4	65.0 (71.0)
8	64.9
10	63.0
16	58.9
20	57.0
25	55.0
31.25	53.1
62.5	47.1
100	43.0

()内はJIS, ISO/IECの場合

最小遠端漏話減衰量 (FEXT)

<規格(TIA/EIA)>
 $FEXT = 35.1 - 20\log(f/100)$ (dB)
 (1 $f < 100$ (MHz))
 式の値が65dBを越えるときは65dBとする。

<規格(JIS, ISO/IEC)>
 $FEXT = 75.1 - 20\log(f)$ (dB)
 (1 $f < 100$ (MHz))
 式の値が75dBを越えるときは75dBとする。

<代表的周波数の特性値>

周波数[MHz]	[dB]
1	65.0(75.0)
4	63.1
8	57.0
10	55.1
16	51.0
20	49.1
25	47.1
31.25	45.2
62.5	39.2
100	35.1

()内はJIS, ISO/IECの場合

最小反射減衰量(RL)

<規格(TIA/EIA)>
 $RL = 30$ (dB)
 (1 $f < 31.5$ (MHz))
 $RL = 20 - 20\log(f/100)$ (dB)
 (31.5 $f < 100$ (MHz))

<規格(JIS, ISO/IEC)>
 $RL = 60 - 20\log(f)$ (dB)
 (1 $f < 100$ (MHz))
 式の値が30dBを越えるときは30dBとする

<代表的周波数の特性値>

周波数[MHz]	[dB]
1	30.0
4	30.0
8	30.0
10	30.0
16	30.0
20	30.0
25	30.0
31.5	30.0
62.5	24.1
100	20.0

品番

NR3160

他9品番

品名

ぐっとすシリーズ
 情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)

他9品種

改

3. 環境条件

- 3 - 1 使用場所 ・住宅, 事務所などの屋内で使用してください。
 ・過酷な取扱いを受ける作業場, 水気のある場所, 屋側, 屋外などでは使用しないでください。
- 3 - 2 使用周囲温度範囲 -10 ~ +40

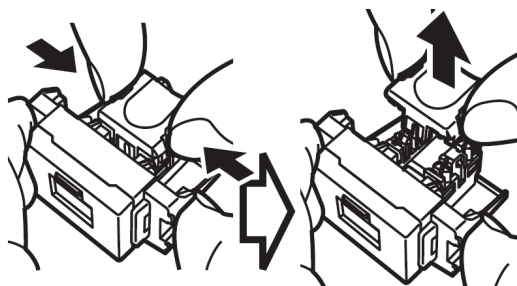
4. 使用条件

- 4 - 1 適用電線
 AWG22 ~ AWG24(0.5 mm ~ 0.65 mm)単線及びAWG24より線の
 「CAT5E対応UTPケーブル」

注) 適用電線以外は、使用しないでください。誤って使用しますと接触不良を
 起こしたり、伝送性能の低下の原因になります。

4 - 2 結線方法

- (1) キャップを本体から外す



できるだけ爪の先端部を
 つまんで引き上げてください。

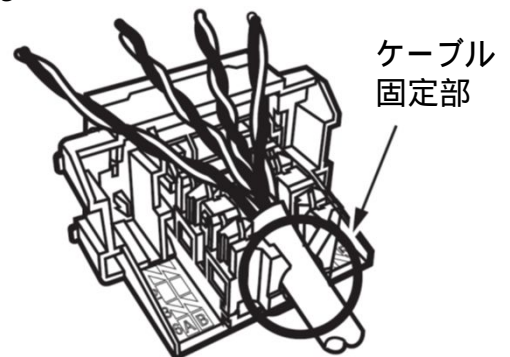
キャップの爪

キャップの爪の先端を指ではさむようにして
 押しつまみ、引上げながら外す。

- (2) ケーブルの外被をむき、モジュラジャックに固定する

ケーブルの外皮を50 mm程度むき、
 外被の先端を「ケーブル固定部」に
 はめこむ。

注) ケーブルの外被をむく際は、内部の
 心線を傷つけないようにむいてください。

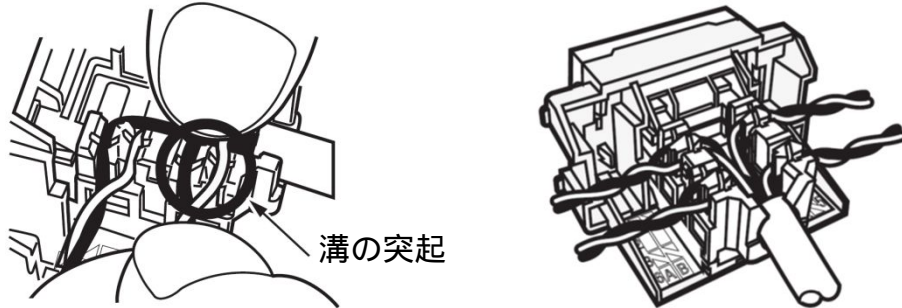


ケーブル
 固定部

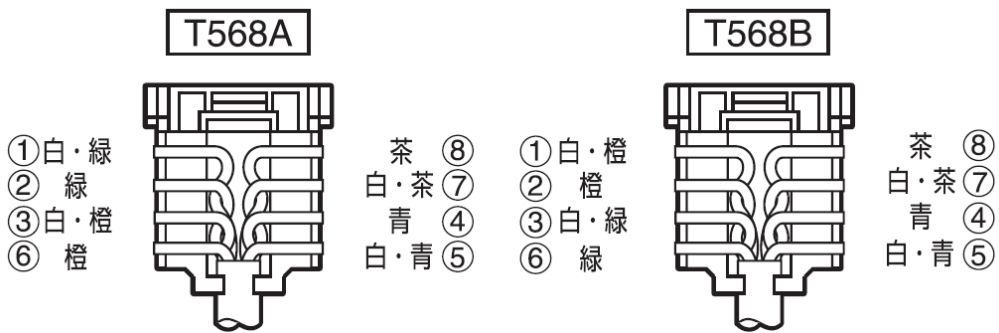
品番	NR3160 他9品番	品名	ぐっとすシリーズ 情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型) 他9品種	改	
----	----------------	----	--	---	--

(3) 心線を溝に挿入する

心線をラベルの表示色に合わせて左右の溝に挿入する。



心線の撚りの中心を、溝の突起に押し当てて撚りを広げながら挿入する。
撚りがきつい場合は、少し撚り戻しをして挿入する



結線図

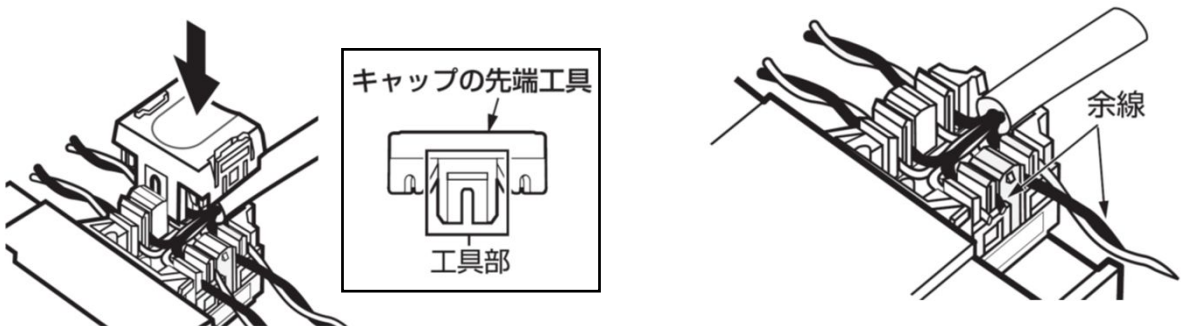
(4) 心線を接続する

注)心線の再接続は10回までです。

キャップの先端工具を使用する場合

キャップの先端工具を使用して、
1本ずつ心線を押し込む(8ヶ所)

はみ出ている余線を切断する

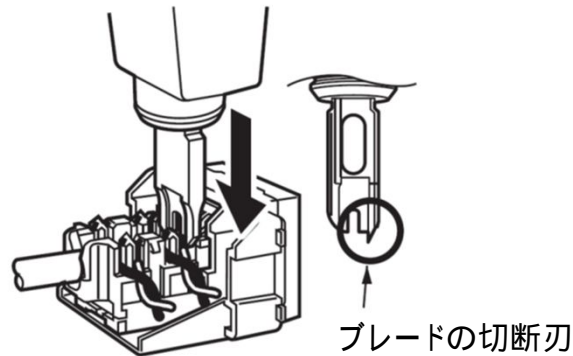


品番	NR3160 他9品番	品名	ぐっとすシリーズ 情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型) 他9品種	改
----	----------------	----	--	---

当社指定工具を使用する場合

注) LAN用モジュラジャックの施工には、当社指定の工具をご使用ください。
適合しない工具を使うと接続端子を損傷することがあります。

インパクトツール(110端子用)の場合 (当社製 NR2470又は同等品)



ご注意

BIX端子用

Krone端子用

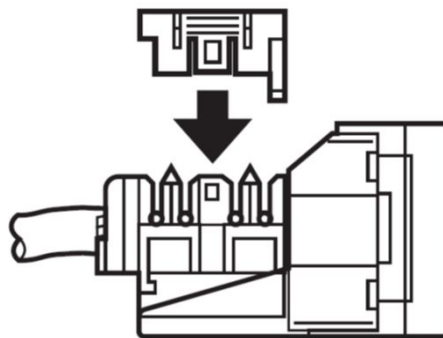
このようなブレードの
ツールは使わないで
ください。

ブレードの切断刃を外側にして、心線をしっかり押し込むと同時に余った線を切断する。

ぐっとす結線専用ツール NR3521の場合

工具に付属の取扱説明書をご覧ください。

(5)キャップを装着する



接続後はキャップを「カチッと」音がするまで押し込んで装着してください。

注) キャップがモジュラジャックにしっかりと装着されていることを確認してください。
装着が不十分な場合は、接続ができていない可能性があります。再度、キャップ
の工具等を使用して、十分に心線を押し込んでください。

品番	NR3160 他9品番	品名	ぐっとすシリーズ 情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型) 他9品種	改	
----	----------------	----	--	---	--

4 - 3 工事方法

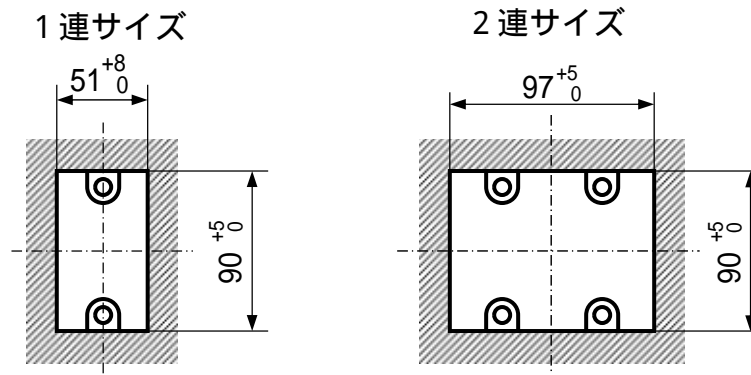
(1) ボックス工事取付の場合

・スイッチボックスは、JIS C 8340 電線管用金属製ボックス及びボックスカバー、JIS C 8435 合成樹脂製ボックス及びボックスカバー適合品をご使用ください。

・壁面の加工穴は、取付枠の垂下部が入るようにあけてください。

(注1) JIS 適合品以外のスイッチボックスを使用しますと、ボックスカバーの穴の四隅に絶縁ワンタッチ取付枠の垂下部が当たり入らない場合があります。

・合板の穴あけ寸法は、下記によってください。



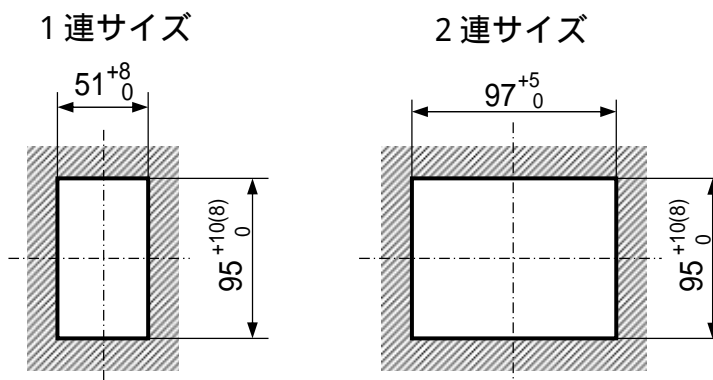
加工穴寸法(単位mm)

(2) ボックスなし工事取付の場合

・パネル壁や石膏ボード壁に直接取り付ける場合は、壁の板厚に合わせてはさみ金具 (WN3990Kなど) を使用してください。

また、軟質ボードや3.5 mm未満の肉薄ボードの場合は、WN3711取付フレームを使って間柱、胴縁に沿って取り付けてください。

・合板の穴あけ寸法は、下記によってください。



加工穴寸法(単位mm)

(注2)

加工穴が小さいと、穴の四隅にWN3710020絶縁ワンタッチ取付枠の垂下部が当たりますので注意してください。

(注3)

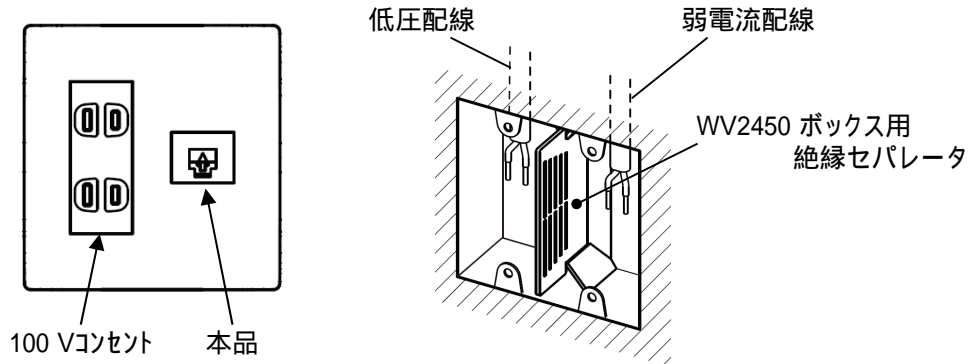
()内寸法は、石膏ボード用はさみ金具を使用の場合

品番	NR3160 他9品番	品名	ぐっとすシリーズ 情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型) 他9品種	改	
----	----------------	----	--	---	--

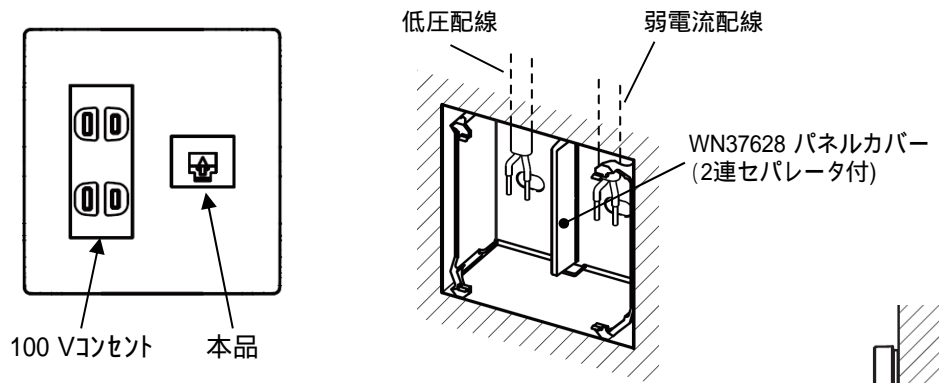
(3) その他

・ボックス工事, ボックスなし工事いずれの場合でも、低圧配線を併設の時は、内線規程3102-7 (JEAC8001-2000) (配線と他の配線又は弱電流電線, 光ファイバークーブル, 金属製水管, ガス管などの離隔)、有線電気通信設備令施工規則第18条等に基づいて施工してください。

・ボックス工事において低電圧配線と併設の場合は、WV2450ボックス用絶縁セパレータ等を使用してください。
但し、金属ボックスをご使用の場合は、ボックスにC種(特別第3種)接地工事が必要です。

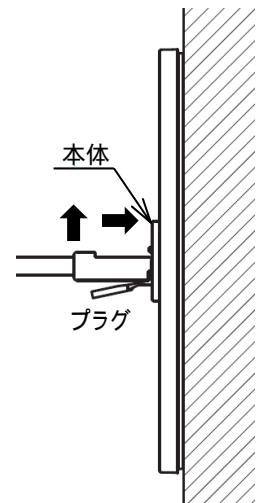


・ボックスなし工事において、低圧配線と併設され、壁内の充填剤(グラスウールなど)に接触するおそれがある場合は、WN37628パネルカバー(2連セパレータ付)を使用してください。



4 - 4 プラグの差し込み方

- (1) プラグの先端で扉を押して開ける。(矢印 方向)
- (2) プラグを差し込む(矢印 方向)

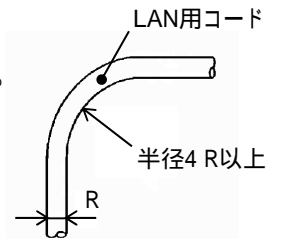


品番	NR3160 他9品番	品名	ぐっとすシリーズ 情報モジュラージャック(CAT5E)(埋込型) 他9品種	改	
----	----------------	----	---	---	--

5. 施工上及び使用上の注意事項

5 - 1 施工上の注意事項

- (1) 1000BASE-T伝送の配線は電力配線と15 cm以上の離隔距離を設けることをお勧めします。
電力配線からのノイズにより、まれに伝送不良が発生することがあります。
- (2) 再結線は10回以内にしてください。
- (3) 配線時には、電線は張力がかからないように配線してください。
また、施工中の電線に加えられる張力も極力少なくなるように配慮してください。
本体を破損させる恐れがあります。
- (4) 通信ケーブル施工時は、ケーブルの被覆を破らないようにしてください。
通信不良を招く恐れがあります。
- (5) ケーブルを半径4R以下に曲げて施工しないでください。
伝送特性が低下する原因になります。(R = ケーブル直径)
- (6) 本品の取り付けにWN3710020絶縁ワンタッチ取付枠、WTF3710Kコスモシリーズワイド21絶縁取付枠、WTL3710Kアドバンスシリーズコンセント用絶縁取付枠を使用の場合、シンナー、ベンジン等の油がかかると、器具に亀裂が生じたり、割れたりしますので注意してください。
- (7) 本品の取り付けにWN3710020絶縁ワンタッチ取付枠、WTF3710Kコスモシリーズワイド21絶縁取付枠、WTL3710Kアドバンスシリーズコンセント用絶縁取付枠を使用の場合、WV2430モルタルガード枠を取り付けたままでは、本品の取り付けができません。
モルタルガード枠は必ず取りはずしてください。
- (8) 本品の取り付けにWN3710020絶縁ワンタッチ取付枠、WTF3710Kコスモシリーズワイド21絶縁取付枠、WTL3710Kアドバンスシリーズコンセント用絶縁取付枠を使用の場合、取付枠からモジュラジャック部分を取り外す為に、はずし穴にドライバーを強く押し込んだり、強引に倒したりしますと、取付枠が破損しますので注意してください。
- (9) ボックスねじ及びプレートねじを過大なトルクで締め付けますと、取付枠が変形して器具がプレートより沈み込んだり、破損したり、ねじバカになったりしますので、注意してください。
(適正締め付けトルク: 0.2 N・m ~ 0.4 N・m)
- (10) 金属張りの壁面に取り付け、且つ金属板と器具との絶縁を必要とする場合は、必ず、絶縁ワンタッチ取付枠とプラスチック製プレートを使用してください。
(金属製プレートを使用しますと、器具と壁面の絶縁ができません。)



品番	NR3160 他9品番	品名	ぐっとすシリーズ 情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型) 他9品種	改	
----	----------------	----	--	---	--

商 品 仕 様 書

9

全 9

5 - 2 使用上の注意事項

- (1) 8極8心以外のモジュラプラグを差し込まないでください。
モジュラジャックのコンタクトばねを変形させるおそれがあります。
- (2) 器具の汚れは中性洗剤を浸した布でふきとってください。
シンナーでふいたり殺虫剤をかけますと、表面の光沢がうしなわれます。

6. 安全確保のための施工上の禁止事項

下記の項目を満足されていない場合のトラブルに関しては責任を負いかねます。

- ・本品の施工は必ず本仕様書の記載内容(4. 使用条件)をおまもりください。
誤った施工をされますと器具の動作不良の恐れがあります。

7. 品質保証について

7 - 1 保証期間

- ・本品の品質保証期間は商品お買い上げ日(お引き渡し日)より1年間です。

7 - 2 保証内容

- ・取扱説明書、本体ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には無料修理をさせていただきます。

7 - 3 保証の免責事項

- ・保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (2) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電圧(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合。
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷。

品
番

NR3160

他9品番

品
名ぐっとすシリーズ
情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)

他9品種

改